

バイオで価値を創造する

— こども・家族・社会をつつむケアを目指して —

2021年12月2日

キッズウェル・バイオ株式会社

代表取締役社長 谷 匡治

この資料はキッズウェル・バイオ株式会社（以下、当社という）をご理解いただくために作成されたものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

この資料に含まれている今後の戦略・計画、将来の見通し及びその他将来の事象等に関する記載には、本資料の発表時点において合理的に入手可能な情報に基づく当社の仮定、見込み等が含まれます。そのため、実際の業績、開発進捗等は、今後の研究開発の成否や将来における当局の対応、事業パートナーの状況等、現時点では不明又は未確定な要因によって、本資料の記載とは異なる結果となる可能性があります。

1 キッズウェル・バイオ（KWB）について

2 パイプラインの状況

3 5か年中期経営計画

4 KWBの社会的存在意義

キッズウェル・バイオ (KWB) について

キッズウェル・バイオ株式会社

Kidswell Bio Corporation

バイオで価値を創造する
 —こども・家族・社会をつつむケアを目指して—

会社概要	設 立	2001年3月		
	上 場	2012年11月（東証マザーズ）		
	資 本 金	1,032百万円（2021年3月31日現在）		
	所 在 地	本社	東京都中央区新川一丁目2番12号	
		研究所	北海道大学内	
従業員数 （連 結）	39名（2021年3月31日現在）			
経営体制	取 締 役	代表取締役社長	谷 匡治	
		社外取締役	栄木 憲和	元 バイエル薬品（株）代表取締役会長
		社外取締役	千葉 彩	一般社団法人RAC 代表理事
	執 行 役 員	研究開発本部長	川上 雅之	
		事業開発本部長	紅林 伸也	
		経営管理本部長	栄 靖雄	
主要株主	ノーリツ鋼機株式会社、ナノキャリア株式会社、JSR株式会社、千寿製薬株式会社、伊藤忠ケミカルフロンティア株式会社			
事業内容	バイオ新薬事業、バイオシミラー事業、再生医療事業			

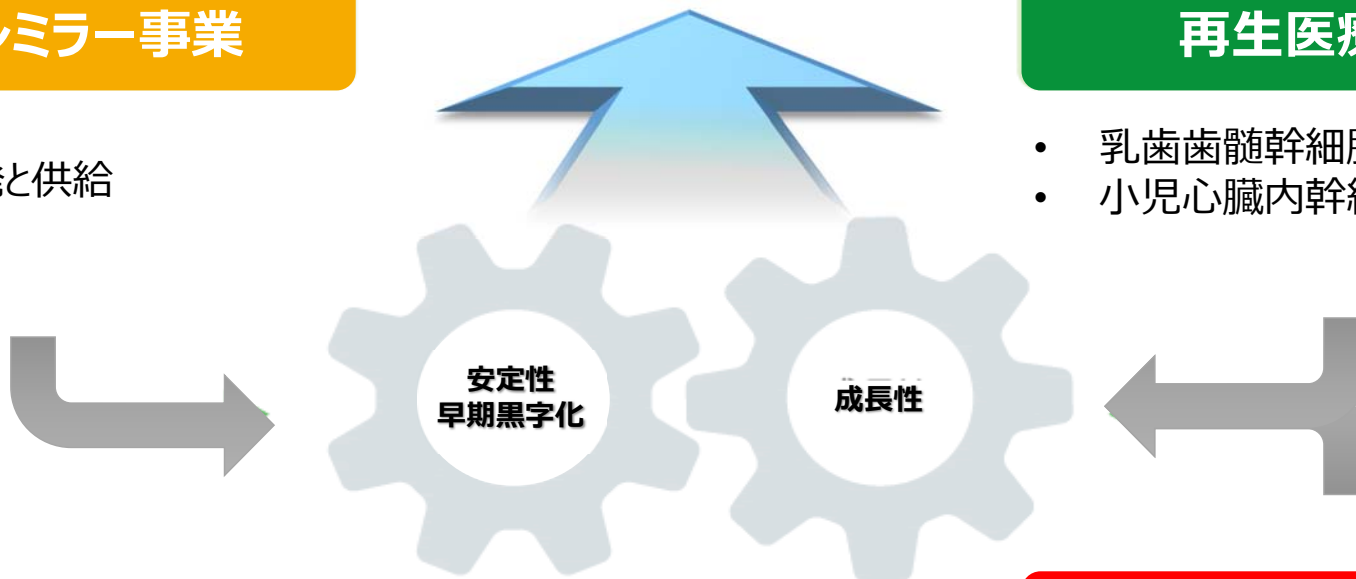
3つの事業領域において、優良なバイオ技術を1つ1つつなぎ合わせ、革新的な製品やサービスを生み出し、日本のみならず広く世界に届ける

ハイブリッド & バーチャル事業体制

バイオシミラー事業

- 原薬の開発と供給

事業安定化と
早期黒字化を実現



再生医療事業

- 乳歯歯髄幹細胞※の研究開発
- 小児心臓内幹細胞※※の研究開発

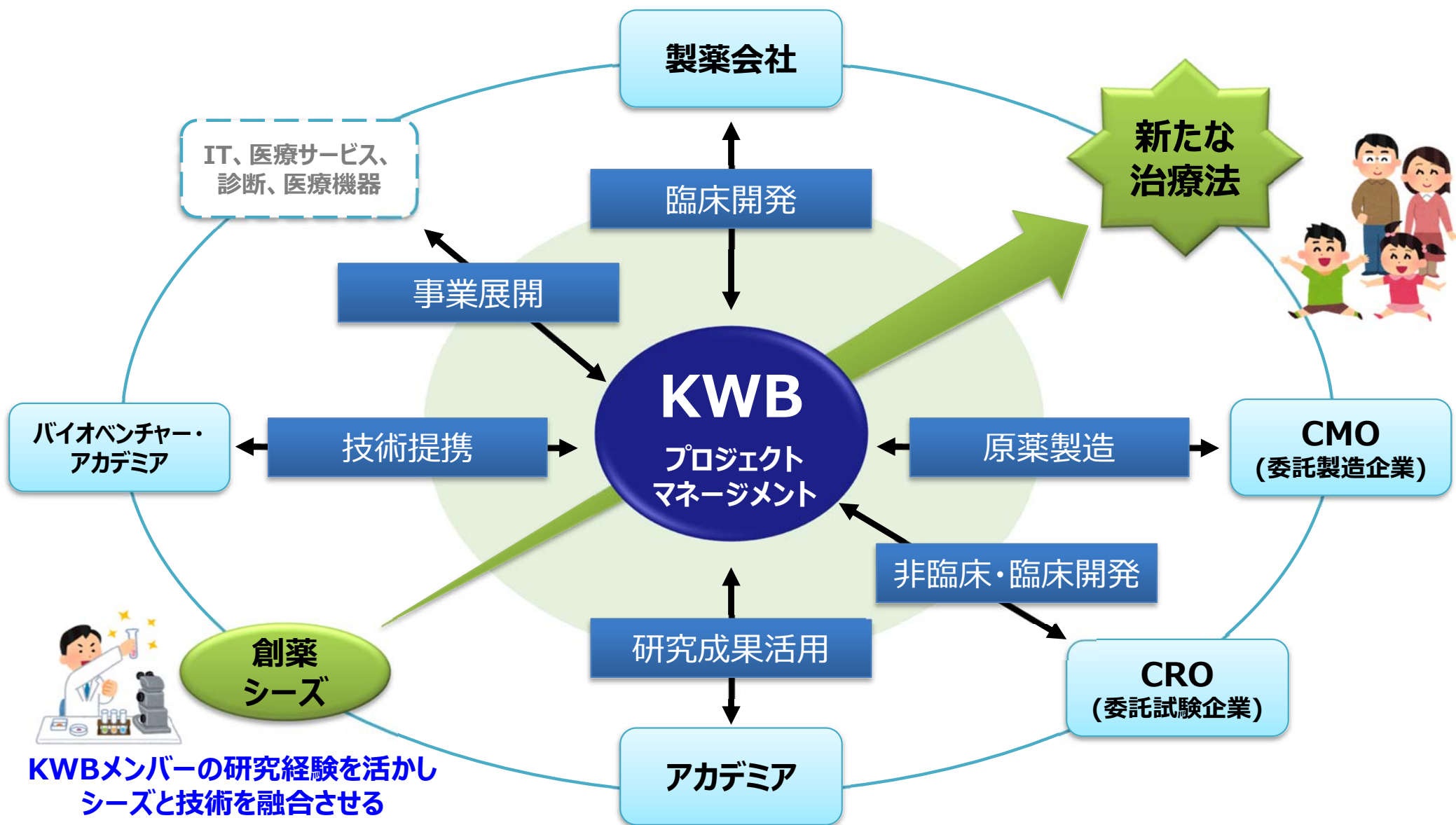
高い成長性を実現

バイオ新薬事業

- 抗体医薬を中心とした研究開発

※ SHED (Stem cells from Human Exfoliated Deciduous teeth)
※※ CSC (Cardiac Stem Cells)

➤ これまでの事業経験から**プロジェクト毎に最適な体制を構築**し、価値の最大化を図る



パイプラインの状況

事業区分		主な対象疾患／開発状況	
再生医療事業	乳歯歯髄幹細胞 (SHED)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 口唇口蓋裂 ■ 腸管神経節細胞僅少症 ■ 脳性まひ ■ 脊髄損傷 ■ 難治性骨折 その他骨疾患、神経疾患 	基礎研究
	心臓内幹細胞 (CSC)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 機能的単心室症 	第3相臨床試験
バイオシミラー事業	タンパク抗体	<ul style="list-style-type: none"> ■ がん ■ 眼疾患 ■ 腎疾患 	上市／製造販売承認取得 ✓ GBS-001 (がん) ✓ GBS-007 (眼疾患) ✓ GBS-011 (腎疾患)
バイオ新薬事業	抗体	<ul style="list-style-type: none"> ■ 抗RAMP2抗体 ■ 悪性リンパ腫含むがん ■ 血管炎 ■ 肺高血圧症 	基礎研究

【参考】

GBS-007 製造販売承認取得について：<https://youtu.be/PuBqhGiUdok>

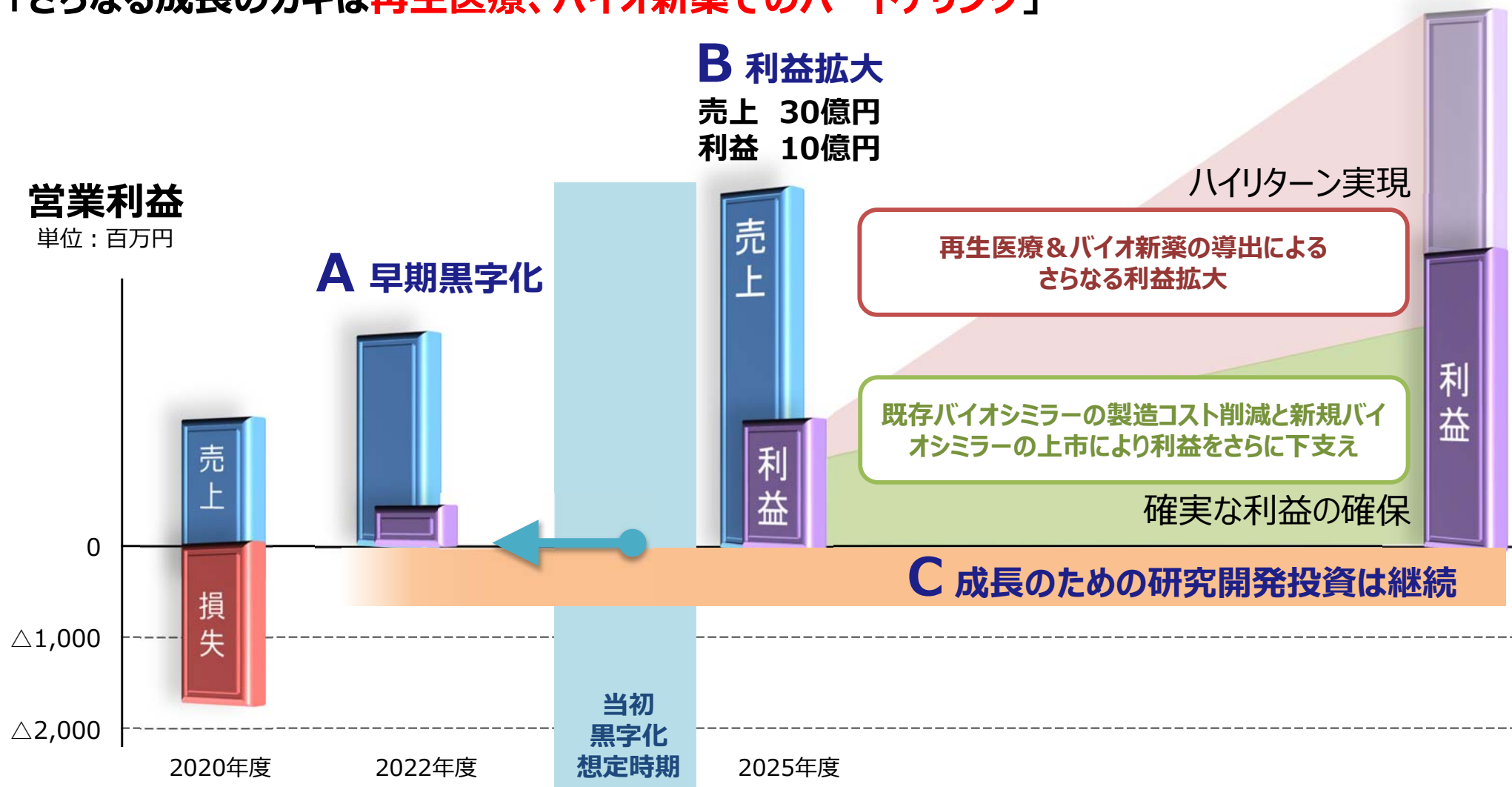
歯髄幹細胞 (SHED) について：<https://youtu.be/jOkGcGRvB3c>

中期経営計画 パイプライン説明動画：<https://youtube.com/playlist?list=PLW9pdELJUrm3xkDIQxpkMlniiE55ryvtX>

5か年中期経営計画

- A) 2022年度に黒字化達成
- B) 2025年度に売上30億円、営業利益10億円、それ以降の利益の飛躍的拡大
- C) 成長のための研究開発投資は継続

「さらなる成長のカギは**再生医療、バイオ新薬でのパートナーング**」



2022年3月期 第2四半期 業績・連結

単位：千円

科目	2021年3月期	2022年3月期		ポイント
	2Q実績	2Q実績	通期予想	
売上高	174,487	740,635	1,900,000	<ul style="list-style-type: none"> ✓ GBS-001、011に関する収益は順調 ✓ BS第4製品目の原薬製造プロセスに係る原薬販売を計上
売上原価	39,964	275,700	1,020,000	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 今期1QにMCB完成に向けた最終開発費用として96,000千円を計上 (会計上は、受注損失引当金繰入額)
売上総利益	134,523	464,935	880,000	
販売費及び一般管理費	817,249	915,868	2,600,000	
研究開発費	403,208	532,689	1,800,000	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 前期比増だが、前期から期ズレした研究開発費投資を行い、GBS-007承認に向けた最終開発が順調に進んでいることが要因
その他販管費	414,040	383,178	800,000	<ul style="list-style-type: none"> ✓ コスト効率化を継続対応
営業利益	△682,725	△450,932	△1,720,000	

KWBの社会的存在意義

**日本にある優良なバイオ技術を1つ1つつなぎ合わせ、
未来を担う子供たちのかけがえのない今、そして明るい明日へと**

◆ 日本の優良なバイオ技術を世界へ

日本の大学や研究機関では、様々な優良なバイオ技術の研究開発がなされております。その技術を応用し、製品やサービスを生み出し、日本のみならず広く世界にお届けし、貢献することが、世界の中の日本にとっても大切なことと考えております。

◆ 明日の子供たちへ

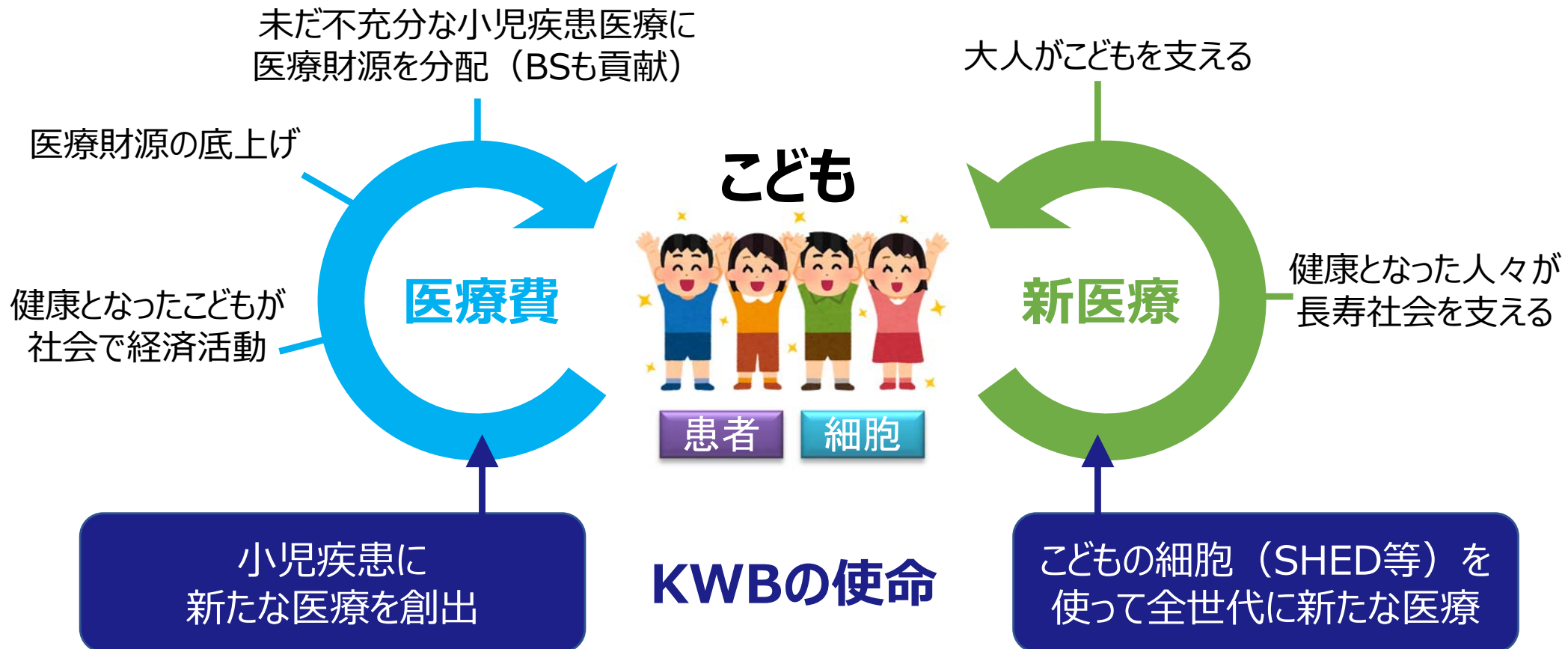
日本のみならず、世界各国で少子高齢化が課題の今、次の世界を築き上げていくのは、子供たちや若い世代の方々。がん、心疾患、先天性疾患で悩むお子さんが治癒され、社会に飛び立っていくことが大切なことと考えております。そのために、バイオ技術で子供たちの明るい未来にKWBは貢献します。



■ こどもを起点にした2つの好循環の実現

新医療：小児由来の細胞で新たな医療を提供、長寿社会を支える

医療費：健康となった小児患者が成人後、経済活動を行い、我が国の医療財源を底上げ



こどもの力になること、こどもが力になれること

KIDS WELL, ALL WELL

Kidswell Bio Corporation